

# 先進施設視察



周囲の景観に溶け込むGH。内部は障害特性に合わせたオーダーメイド。施設のエントランス。心地よい空間に自然に笑みが。



街の洋菓子店と化した就労継続B型事業所。食堂はカフェ運営も行われ、この日も地域からのご利用客が。

## 「地域に生きる」大阪/北摂杉の子会

総務部次長 江指裕嗣

11月28日、29日の2日間、各事業所からの代表8名にて大阪の北摂杉の子会へ視察研修に出掛けました。

「地域に生きる」という理念の下、ノーマライゼーションの実現を目指し、高槻・島本福祉圏域で暮らす障がいを持つ人々・家族の人たちに必要とされる地域生活支援サービスの創造を目指す。発達障害の支援に特化し、大阪府下という広域における支援を目指す。という2つの方向性を持ち事業展開を行っていらっしゃいました。当日は、5か所の事業所を見学させていただき、理事長の松上さんからお話を伺うこともできました。

いずれの事業所においてもスタッフのみなさんが口を揃えておっしゃる「ニーズベース」を具現化された支援に一同、圧倒されるばかりでしたが、考えつくされた支援には見習うべきことばかりでした。徹底した専門性の追求により構造化、視覚化した支援手法。利用される個人に合わせてオーダーメイドの施設設備。サービスが提供される場合は、誰もが居心地の良さに笑みがこぼれてしまう水準を求めて設定されており、利用者のみなさんの穏やかな笑顔とそっと寄り添うスタッフのみなさんの姿が印象的でした。

今回、大いに刺激を受けた視察メンバーですが、この学びを活かし、利用者主体の支援の強化のために次のアクションに踏み出しています。当法人においても、利用者のみなさんの笑顔がさらに広がるようにして行きたい、と考えています。



### 「Facebook」始めました!

この度、法人のFacebookページを開設いたしました!  
<<https://www.facebook.com/chidorifukushikai1415/>>

事業所での日々の様子を、SNSでより身近にお伝えできるよう頑張りますので、よろしくお祈りします!(フォローやリアクション頂けると大変喜びます!)



### 「マチコミ」にご登録の皆様へ

職員・保護者の連絡網として、昨年度より導入したメール配信サービス「マチコミ」について、アプリ版のご案内です。スマートフォンからご利用の場合は、アプリ登録でタイムラインの閲覧などより便利にお使い頂けます。アプリのダウンロードはこちらから。  
<※もしくは各ストアから「マチコミ」で検索。>  
詳細は各事業所の情報発信委員までお気軽にお問い合わせください。



## 千鳥福祉会家族会との懇親会

平成30年10月5日、第2回目の「千鳥福祉会家族会・千鳥福祉会懇親会」をサンラポーむらくもを会場に行いました。当日は44名の参加があり、日頃、ゆっくりお話しできないこともじっくりとお話しすることができ、大変良い交流の機会となりました。また、歌やハンド演奏なども盛り上がりました。

## 苦情や要望の受付・解決への取り組み報告 (平成30年5月～11月)

標記期間中に苦情の申し立てはありませんでした。今後も真摯に対応していきたいと考えますので、お気軽なお申し付け下さい。なお、法人内、各事業所の苦情受付窓口以外に下記にご相談頂くこともできます。

### ■千鳥福祉会苦情解決第三者委員

- 京 俊輔 氏(島根大学人間科学部 准教授)  
TEL 0852-32-6239
- 足立 孝子 氏(島根大学人間科学部 助教)  
TEL 0852-32-9051
- 島根県施設運営適正化委員会  
TEL 0852-32-5913

## 利用者のみなさんの「声」受付報告 (平成30年4月～11月)

当法人では、利用者のみなさんから上がるいろいろな相談、その「声」に耳を傾け、利用者のみなさんの立場に立った支援をしていきたいと考えています。全体的な傾向として、自立度が高い方が利用される事業所の方から多くの意見を頂いています。さらには、利用者自治会の機会等に一度に多数の意見が寄せられるようです。各事業所により、利用対象者やサービス提供形態が異なるため、一律の取り組みとはなりませんが、各事業所がそれぞれに工夫して「声」に耳を傾け、相談に応じていきたいと思っております。

	利用者のみなさまより	ご家族のみなさまより (世話人含む)
持田寮	38件	0件
ういんぐ	90件	1件
フレンド	149件	2件
ばすてる	4件	41件
共同生活	119件	3件
大空	2件	3件
ひまわり・総務	2件	4件

※ひまわり・総務の場合は、他事業所向けの相談受付となります。

Leaving  
Care News  
2019.01.20 No.133



〒690-0814 松江市東持田町1415  
社会福祉法人 千鳥福祉会  
TEL0852-24-8820(代)FAX0852-24-8825  
障がい者支援施設 持田寮  
多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ  
多機能型事業所 ワークセンターフレンド  
共同生活援助事業所  
居宅介護等事業所千鳥福祉会ケアセンター大空  
相談支援事業所 ひまわり  
放課後等デイサービスばすてるばすてるひまわり  
URL <http://www.tidori.org/>  
E-mail [chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp](mailto:chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp)



## 一層の努力を。

千鳥福祉会 理事長  
山本 昌子



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、良いお年をお迎えのことと喜びを申し上げます。たくさんの方々のお力添えを頂いて、利用者さんと一緒に無事に新しい年を迎えることができ、何よりもうれしく心からお礼を申し上げます。

実は、出会いから計算すると17・8年になりますが、戦後日本の経済復興モデルから生まれた日本生産性本部推奨の経営品質の経営要素でこれまで法人運営を手掛けてまいりました。そして、今年度初めて企画された経営デザイン認証制度に出会い、申請・認証の運びになりました。ご利用頂いたお客様、後援会様、地域の皆様を始め長い間ご支援頂いております多くの皆様へ感謝をこめてご報告いたします。ただ、認証式で心に残った「横風が吹いています」という言葉は、描いた経営デザインの実現の難しさも示唆するものでした。



大切にしてきた『諦めると努力がゼロになる』を一層心に刻み直して、絵に描いた餅にならないよう取り組みます。

『福祉は社会や経済情勢と切り離しては考えられない。経済的余裕から生まれる補完事業である』とされた定義が「福祉の充実こそが豊かな暮らしを築く」に変わるようにできればと思います。安定的存在であったヨーロッパの変化や米中2大経済大国の競り合いから何を学べば良いか……それぞれの国の生い立ちから生まれた思想や主義はどう変容するのか…日本の今の立ち位置は…世界統治も混乱期かもしれません。しかし、努力すれば混乱の後に必ず良いものが生まれるはず。微力ではありますが、前を向いて、一層皆さんのお役にたてるような事業展開をしなければという思いを新たに致しております。

今年もどうかよろしくお祈り申し上げます。

### 編集/情報発信委員会

- 青山 英尚
- 竹内 朋宏
- 勝部 のぞみ
- 原 裕子
- 江指 裕嗣
- 山本 佳那
- 植尾 佳代

皆様あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

平成最後の！千鳥福祉会、各行事のようすをお届けします！

旅行、クリスマス会、お正月風景…。

去年は事業所単体でなく法人として、職員・利用者様が一緒に

イベントを盛り上げていく—そんな取り組みが多く見られ

総じて好評でした。どうぞご覧ください！



しまね海洋館 AQUAS  
★アークス/イルカをバックに(フレンド)



★朝食時の1シーン(ういんぐ)



★なりきりました(へへ)ゞ(ういんぐ)



★仮装で大盛り上がり(フレンド)



フレンドクリスマス会  
★USA!USA!(フレンド)



★宝石さがし、夢中になりました(ういんぐ)



★就労班☆オンステージ(ういんぐ)



★猫耳似合ってる〜?? (フレンド)



★仁摩サントミュージアムにて(フレンド)



★王子動物園で象と(ういんぐ)



★ばすてる「ドラえもん」@持田寮X'mas会



★サンタさんからプレゼント(ばすてる)



★今年も元気一杯に発表!(ういんぐ)



★泊旅行は大阪USJ(持田寮)



★書初め~年初めの決意(持田寮)



★クリスマスだよ!全員集合!(ばすてる)



★Xmasコンサート(ばすてる)

# 支え合う隣人として…地域とのつながり

## 千鳥福祉会とのつながり 持田公民館館長 野津 篤

千鳥福祉会様には、地域住民の交流の場「やすらぎ喫茶」(毎月実施)への高齢者送迎、福祉をテーマにした地域学習への講師派遣及びご寄付による地域福祉活動への支援をはじめ、「持田ふるさと祭り」のボランティア、公民館駐車場の草刈りなど広く公民館活動にご支援いただいております。

また、貴会が毎年開催される「サマーフェスタ」は昨年で17回を迎えられ、すっかり地域の夏祭りとして定着しています。昨年はこのイベントに、持田地区社会福祉協議会による「抹茶コーナー」を設けさせていただきました。

貴会の献身的な努力によるところが大きいですが、貴会と持田地域の繋がりは年々深まっていると感じます。多発する大規模災害への備え、少子高齢化への対応、地域福祉の推進はもとより、明るく元気な地域、住みたくなる地域を目指す取り組みには、まずは、だれもが支え合う地域であることが重要であり、隣人でもある貴会との繋がりを大切にしたいと思います。



**寄付のご報告**  
サマーフェスタ2018の収益金の内、一部を寄付致しました。  
■持田公民館様へ 2万円  
■島根県社会福祉協議会様へ5万円  
(しまね災害ボランティア基金)  
ご来場頂いた皆様に、重ねて厚くお礼申し上げます。

## 持田小学校 ドリームプロジェクトを終えて。



L.C.C.ういんぐ 勝部のぞみ  
持田小学校出身で、地元で働いているという事から今回、6年生の皆さんに向けて、福祉の仕事についてのお話や自分が福祉の道を選んだきっかけ、この仕事を通して目指していきたいものをお話させていただきました。普段、小学生と関わることが少ないので、どう話したら分かってもらえるのか考えながらの準備。無事発表を終え、後日皆さんから感想をいただき、改めて仕事へのやりがいを見つめることが出来たと思います。良い経験をさせていただき、ありがとうございました。

### 生徒さんの感想(一部抜粋)

- お話を聞いて、みなさんは障がいのある方が幸せになれるように、とても一生懸命にお仕事をされているんだなと思いました。私も人を幸せにできるような仕事ができたらいいな、と思いました。
- 私は、初めは「福祉の仕事ってなんだろ。」と思っていました。でも、話を聞いたり、実際に見たりして、とてもすてきな仕事だと思いました。どこがすてきかという、働いている人がずっと笑顔なところや利用者さんが出来なかったことが出来るようになる感謝をしてくれる、喜んでくれるところなどがすてきだと思いました。これから私たちは障がいを持った方と関わることがあると思います。その時は、千鳥福祉会のみなさんのような笑顔や、その人の気持ちを大事にしてあげたいと思いました。
- 障がいがある方の働いている姿を見て、一人ひとり好きなことをして働いていたので、とてもかっこいいと思いました。自分の苦手なことがそれぞれある中で、前向きに考えてチャレンジしている所を見てすごいいいと思いました。そんな姿を見て、私はチャレンジをせずにあきらめていたことを前向きに考えて、挑戦したいと思いました。
- 私にとって夢とは大きな物だと思っていました。だけど、〇〇ができるようになりたいという小さな夢でも良いことが分かりました。なので、夢をしっかり持って、夢に向かって頑張っていきたいと思いました。
- 職員さんの話を聞いて、職員さんの仕事に対する思いが分かりました。自分に出来ることはなんなのかを考えているのも、すごいいいと思いました。

## 朝酌児童クラブ様との交流会

放課後等デイサービス事業所ばすてる山本佳那

ハロウィンの季節に、朝酌児童クラブ様と交流会をさせて頂きました。ばすてるばすてるびすと児童クラブの子どもたちはそれぞれに仮装をして交流会に参加し、楽しい雰囲気の中で時間を過ごすことが出来ました。お互いの自己紹介から始まり、ダンス発表やプレゼントを渡し、自分の事やばすてるの事を知ってもらい、相手の事も教えてもらえるとてもいい経験でした。一緒に楽しい時間を過ごせたことで、初めは緊張していた子どもたちも最後には笑顔でいっぱい。児童クラブ様からの「またきてね。」の言葉で、一同温かい気持ちになりました。ぜひまた、地域交流の機会を設けて、お邪魔させて頂きたいと思ひます。

地域貢献は社会福祉法人としての責務ですが、地域とのふれあいは同時に法人の大切なエネルギー源です。とりわけ、昨年はたくさん新しい交流の場が増え、喜びを得られた年となりましたこと、改めて感謝申し上げます。

